

詳細事例報告書(認定薬剤師・更新用)5

氏名	塩野入 洋	認定薬剤師番号	第 00244 号
事例時期	2022 年 3 月 7 日 ～(継続)		
領域	C:服薬指導・支援	事例発生場所	薬局
表題	吸入フォローの過程でホー吸入の指導を実施した事例		

1. その事例を選んだ理由

現在、吸入薬について大きく分けると pMDI /DPI /SMI があるが更にデバイスについて見てみると種類も豊富にある。選択肢が多いことは良いことだが操作方法等が異なり操作を誤ってしまうと効果が減弱する、副作用が現れることがある。誤った使用を防止するため適切な吸入指導が必要となってくるが、指導の際には吸入薬の指導箋や練習用デバイス等を用いて指導する。

そのような中で患者の訴えからホー吸入というもう一歩踏み込んだ指導をすることにより患者の症状改善に繋がったと考えられる事例を報告する¹⁾。

2. 実践した具体的内容

【症例】 80 歳男性

【使用薬】 テオフィリン徐放錠(100) 1 回 1 錠 朝夕食後

インダカテロールマレイン酸塩/グリコピロニウム臭化物カプセル

インダカテロール酢酸塩/グリコピロニウム臭化物/モメタゾンフランカルボン酸エステル吸入用カプセル
(中用量) 両薬剤とも 1 日 1 回 1 回 1 吸入 朝 その他別疾患の内服薬の服用あり

【具体的内容】

<初回> 息苦しさを訴え呼吸器内科を受診し、テオフィリン徐放錠(100)及びインダカテロールマレイン酸塩/グリコピロニウム臭化物カプセルが処方となった。

初めての使用とのことで吸入指導説明書用いてステップ 1~3 及び吸入後のカプセル内の残薬の確認やうがいについて指導した²⁾。

その際には 1 ステップ毎立ち止まりながら丁寧に指導を行い、カプセルのセット/カプセルの穴あけ/吸入(特にカラカラ音がしているか)/すべてできていることを確認し、その旨処方医に情報提供した。

さらに患者単独での吸入に不安があったため、その場で 1 回分を吸入していただく形を取り一通り問題ないことを確認した。

<1 ヶ月後> スパイロメリーの値が悪いとのことで、インダカテロールマレイン酸塩/グリコピロニウム臭化物カプセルからインダカテロール酢酸塩/グリコピロニウム臭化物/モメタゾンフランカルボン酸エステル吸入用カプセルへと変更となった。

その際には、操作や吸入手技については変わらないことを説明し、炎症を抑えるステロイド剤が追加になっている旨を説明した。

合わせて吸入手技等に問題があり改善してない可能性も考えられたので、デモ機を用いて一連の動作を行ってもらい、吸入手技等には問題ないことを確認した。

<2ヶ月後> 3回目の受診ではスパイロメトリーの値は改善しているようだったが本人はまだ違和感程度の症状を感じ、舌に粉が付着するような感じがするという訴えがあった。

そこで日本喘息学会のホームページで紹介されているホー吸入について吸入説明指導書を用いて指導することにした。

指導に関して一番重視した点は、ホーと発音しながら息を吐き、ホーと思いながら吸入すること、口から喉に通り道ができるイメージをするという2点である。

<3ヶ月後> 口の違和感も殆どなくなり症状も感じなくなっていたが、吸入薬の必要性を十分に説明し、自己判断で中止しないように指導し現在も継続使用中である。

3. プライマリ・ケアに関する考察

DPI(Dry Powder Inhaler)は吸入薬の中でも自己の吸入力が必要な剤形である。

そのため吸入の際には口を窄めるがそれと同時に舌が上がってしまうことがあり、今回処方されていたブリーズヘラータイプは特に吸入口が狭いため口を窄めやすく舌が上がりやすくなる。

舌が上がっていると舌に薬剤が付着する、喉の開きが狭く気管まで十分に届かない可能性がある³⁾。

そのことにより口腔内の違和感といった副作用が現れる、治療効果が十分に発揮されないという可能性が考えられる。

今回の事例は、舌に粉が付着するような感じがするという患者の訴えから舌に薬剤が付着している可能性が高いためホー吸入の指導を行った。

ホー吸入を実践することにより副作用の軽減に繋がり、適切な指導が行えたと感じているが、元から吸入に不安があった方なので初回からホー吸入の指導を行っておけば良かったと感じた。

普段吸入指導の際には操作に問題がないか、吸気流速に問題はないか、うがいはできているかという点を主に意識してきたが今回の事例により一見問題無さそうだが実際に口の中では問題が起きていることがあるということを実感した事例である。

なかなか舌の位置を確認するという事は難しいが、吸入薬のフォローをしていく中でホー吸入の指導を加えることにより適切な舌の位置の指導につながると感じ、特に効果を十分に感じていない、口の中に違和感があるといった方にはぜひ勧めたい吸入法だと感じた。

またブリーズヘラーに限らずホー吸入を指導することで治療効果の上昇や副作用の軽減ができるのではないかと考えられるため、吸入指導の1つの選択肢として今後活かしていきたいと思う。

1) 一般社団法人日本喘息学会 <https://jasweb.or.jp/movie.html>

2) ブリーズヘラー®の吸入手技(ノバルティスファーマ株式会社)

<https://www.drs-net.novartis.co.jp/dr/products/product/ultibro/inhalation/>

3) Horiguchi T, et al. J Allergy Clin Immunol Pract. 2018;6:1039-1041